

「みずかがみ」の穂肥時期です!

1. 穂肥の時期と量

4月下旬～5月上旬植えの場合

6月28日頃からの予想です。

- 穂肥の施用時期は幼穂形成期（出穂25日前）に1回のみです。コシヒカリよりも時期が早いのでご注意ください。
- 幼穂形成期は幼穂長が1mm (右図) の頃です。幼穂長を確認し適期に施用しましょう。



分施肥体系の場合

- 穂肥の施用量の基準は、窒素成分で 3 kg/10a です。
- **大豆跡栽培**では窒素成分で 1.5 kg/10aを目安に施用しましょう。

全量基肥体系の場合

- 原則必要ありませんが、中干し後の**茎数が20本/株 未満**のほ場では、窒素成分で 2 kg/10aを目安に有機質肥料で穂肥を施用し収量向上を図りましょう。

- 穂肥の施用が遅れると玄米タンパク質含有率が高まり、食味低下につながります。遅れずに施用しましょう!!
- 「環境こだわり農産物」認証基準：「化学肥料の窒素成分量 4 kg/10a 以内」を守ってください!

2. 熱中症対策を行いましょう!

農作業中は、こまめな塩分・水分補給や休憩を行い、健康管理には十分注意するよう心がけましょう。

